

## 「ぎふ清流国体」で本県勢が躍進 福井国体に向けた準備も着々

9月29日(土)から10月9日(火)にかけて岐阜県で開催された「ぎふ清流国体」で、本県勢が天皇杯(男女総合)24位を獲得。昨年の30位を上回る大きな成果を残しました。

開幕日の現地結団式には、西川知事も参加し、選手団を激励。「ガンバロー」三唱で、力強く健闘を誓いました。

なお、6年後の福井国体に向け、県では、福井運動公園の陸上競技場や体育館などの整備・改修に着手するほか、主力選手として期待される中高生の競技力向上策なども推進。開催に向けた準備を着実に進めています。



## 「みほとけの里 若狭の秘仏」特別公開 巡回バスツアーも実施

平成26年度に予定される舞鶴若狭自動車道の全線開通に向け、嶺南への観光誘客を拡大しようと、9月から10月にかけて、若狭地域の14か寺・20件の通常は公開されていない仏像などの文化財を特別公開する「みほとけの里 若狭の秘仏」を初めて開催しました。

また、これに合わせ、小浜市内の秘仏等を巡るガイド付きバスツアーも運行。初日となった9月15日(土)には、33年ぶりの本開帳となった加茂神社為星寺の木造千手観音菩薩立像(国指定重要文化財)をはじめ、普段は見ることのできない秘仏に観光客らは魅了された様子でした。



## 「ふくい環境フェア」を開催 来年秋の国際会議に向け機運上昇

国内外の政府機関などが、里地里山の保全について話し合う「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ」第4回定例会合が、来年9月に本県で開催されることが決定しました。

10月12日(金)、13日(土)には、アオッサや福井駅周辺(福井市)で、「ふくい環境フェア」を開催。西川知事は、「皆さん一人ひとりが福井の里地里山の豊かさを再認識し、率先して保全活動を実践することで、福井の美しい環境を次世代に引き継いでほしい」とあいさつで呼びかけました。

フェアでは、シンポジウムや講演、各種体験コーナーなどがあり、国際会議の開催に向けた機運を高めました。

## 「越前・加賀グルメフェスタin越前おおの」を開催 県境エリアの食の魅力を共同発信

本県と石川県の県境エリアの自治体や関係団体などで構成する「越前加賀広域観光推進協議会」では、平成26年度の北陸新幹線金沢開業に向け、観光誘客の拡大につながる活動を一体的に進めています。

10月21日(日)には、越前おおの結ステーション(大野市)で、「越前・加賀グルメフェスタin越前おおの」を開催。会場には、ご当地食材の炭火焼きやご当地グルメ、各地の新鮮な野菜、スイーツ、特産品などが一堂に集まり、県内外から訪れた約1万2千名が、越前・加賀の秋の味覚を堪能しました。

